

地域と大学を結ぶ広報誌

城西

Vol. 32
2020.9

From Jスポ スポーツサポート／
JOSAI SPORTS FIELD完成／大学駅伝



(((さまざまな取り組みが展開)))

前期「オンライン」授業

新複合棟「23号館」地鎮祭

セキ薬品と連携協定を締結

 城西大学
 城西短期大学
坂戸キャンパス
東京紀尾井町キャンパス
<https://www.josai.ac.jp>

目次

- 02 前期〆オンライン〆授業
「新しい生活様式」下の運動実践動画を作成
- 03 「臨時奨学金」「緊急コロナ特別奨学金」支給
今夏オープンキャンパスは完全予約制
「オールJOSAI #ナニシテル プロジェクト」始動
「クイズ」で学ぶ医療栄養学
- 04 新複合棟「23号館」地鎮祭
セキ薬品と連携協定を締結
交換留学生6人に修了証授与
- 05 From JSポ
佐光菜々子さん(女子駅伝部管理栄養士)
本塩遼さん(陸上競技部コーチ)
- 06 JOSAI SPORTS FIELD完成!
箱根予選会は10月17日 無観客で/
全日本大学対校は出場権獲得
- 07 「シリーズ」フォーカス
麻原酒造 代表取締役 麻原健一さん
附属城西高校
- 08 「シリーズ」先輩訪問
酒田南高等学校教頭 佐藤玲児さん
- 09 「シリーズ」図書館だより
- 10 「シリーズ」美術館通信
- 11 「エリア紹介」
日高市 日高市産の栗で
実りの秋を味わいませんか
越生町 越生町宮樹木葬墓苑
「五大尊花木墓苑」
東武線沿線情報 「SAITAMAプラチナ
ルート乗車券」を発売

【おことわり】 「ゼミ登場」はお休みしました。

題字：創業者 水田三喜男 先生

今号の表紙
キャンパス北側について完成した「JOSAI SPORTS FIELD」。人工芝のサッカー場2面、ソフトボール場1面、周囲にはランニングコースを設けるというスケールの大きさです。後方にキャンパスを望む〆城西のスポーツの新たな拠点。となります。8月にドローンで撮影してもらいました。



〆〆〆 さまざまな取り組みが展開 〆〆〆

前期〆オンライン〆授業

— 少人数実施の一部科目を除き後期も継続

新型コロナウイルスの感染拡大の影響のため、ひと月以上遅れた新学期は5月11日からオンライン授業で始まりました。一部の授業を除き、前期はオンラインでの授業が続きました。学生、教員ともほとんどが初めての体験で、各学部、学科でさまざまな取り組みが展開されました=写真。また、後期も対面授業が行える一部の少人数科目を除いてオンライン授業が継続されることになりました。

アンケートでは6割が「満足」と回答

「オンライン講義特別プロジェクト」は6月1日から10日まで、学生アンケート調査を実施しました。1年生の回答率は約7割。2年生以上は約5割の学生から回答がありました。それによると、オンライン講義を受講しての印象として1年生は「大変満足」9%、「やや満足」52%を合わせて61%が満足だったとの回答が得られました。また、2年生以上では「やや満足」は50%と1年生とほぼ同じだったものの、「大変満足」が16%と増えていました。感想コメントでは「わからないところ、聞き逃したところを見返せる」「オンラインの方が、先

生との距離を近く感じ、画面共有で資料を使うのがとてもわかりやすい」「自分の部屋なので静かな環境でとても集中できる」など、オンライン講義ならではのメリットが多数寄せられました。

一方、当初から懸念されていた「ネット状態が良くない」「Wi-Fiが繋がりにくく画質が下がる」など通信環境についての不満のほか、「課題がちゃんと提出できているか気になる」「出席になっているか不安」など授業評価にかかわる声も寄せられました。

水田記念図書館の関館長「Webでつながる授業—学び」

水田記念図書館の関悦暢館長は同館ホームページの館長メッセージでオンライン授業についての一文を寄せています。

「Webでつながる授業—学び」とのタイトルの文章の中で、関館長は「本格的なWeb授業は多くの教員でまだほとんど経験がなく、そのため各教員が実験的取り組みも加えながら効果的なWeb授業を模索している状況にあると思います。その過程で分かっていたことが個人的に2つあります」として、①教室で学生たちの顔を見ながら話す場合と比べて、Webで教員が一方的に話すと、時間

あたりの情報量は3倍近くになってしまいます②ライブで授業を行うとき、学生にチャットの書き込みを許可すると、学生は色々コメントをくれます。教室で「何か質問はありませんか」という問いに答えられることは稀ですが、チャットは本当にアクティブです。その多くが授業を助けてくれます——と指摘。

「チャットなどを利用して疑問点を受講者全体で共有すると、教室で行ってきたものより、より能動的で高い教育効果が得られる授業も可能ではないか、そのような期待を持ちつつあります」と綴られました。

経営学部 「新しい生活様式」下の運動実践動画を作成

経営学部ではコロナ禍による「新しい生活様式」を実践していく中で、心身の健康を保持増進していくためのオンライン授業動画(運動実践動画)を作成しました=写真。

これまでなかなか運動できなかった人や、どうい

う運動をどの程度やればいいのかわからない人を対象にしています。「ひと汗かいて、心身ともに健康になろう」と題された動画は約11分。



「臨時奨学金」「緊急コロナ特別奨学金」支給

2020
4.24、
5.12

法人本部は4月24日、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、留学生を含む全在學生に「臨時奨学金」として一律5万円を支給することを決定しました。対象は、本学と短大に加え、城西国際大学の学生計約1万4000人です。オンライン講義に必要となるパソコンやインターネット環境の整備や通信の費用などに充ててもらうためでした。また、今年度の学費の納入期限を4月末から6月30日に延長することも決定しました。

さらに法人本部は5月12日、新型コロナウイルスの影響で経済状況が急変した学生を対象とした「緊急コロナ特別奨学金」の設立を決めました。3大学の留学生を含む在學生(研究生と授業料を支払っていない学生は除く)のうち、家計支持者の収入激減や自身のアルバイト収入の減少などにより、学業の継続が困難になった学生が給付対象。約1億円を目標に寄付を募り、1人当たり原則10万円を支給します。

緊急コロナ特別奨学金については、本学の同窓会と父母後援会、城西国際大学の同窓会と父母後援会から各1500万円の寄付があったほか、卒業生や大学近隣にお住まいの皆さま、ご縁のある企業の皆さま、そして教職員からの寄付によって、7月末でほぼ目標金額に達したそうです。

今夏オープンキャンパスは完全予約制

2020
7.12
/26、8.10
/22

— 2部制で“3密”を回避 説明会ライブ配信も

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、今夏のオープンキャンパスは完全予約制で行われ、Webでのキャンパス体験も行われました。

7月は12日と26日に行われ、それぞれ約400人の来場者がありました。スタッフはマスクやフェイスシールドを着用。学内各所に消毒用アルコールを配備。午前、午後の2部制で“3密”を回避しました。

来場者は体温チェックの上で入場していただき、ソーシャルディスタンスを保った受付や移動、座席配置を行いました。学科説明のほか、個別相談や入試説明会、保護者説明会があり、ライブ配信もありました。8月10日は約600人、22日は約500人の来場がありました。



城西短期大学での説明会

動画を監修した石倉恵介教授(運動生理学)が「オンライン授業で生活活動が減少しており、これまで以上に身体を動かす機会を増やして心身の健康づくりを実践していく必要があります」として、1週間の目標として、「1日1時間のウォーキング+30分のジョギングを週2回」などと具体的な基準を挙げて説明しています。

その後、駅伝部監督である榑部静二教授が、スクワットジャンプや腹筋、フォワードランジなどサーキットレーニングのやり方を約4分間にわたって紹介。最後に石倉教授が「これまであまり身体運動をしてこなかった人は、急に目標を達成しようとせず、少しずつ取り組んでください」と呼びかけています。

「オールJOSAI #ナニシテル プロジェクト」始動

2020
4~

みんなで〆今〆を共有 NHK「シブ5時」で紹介も



YouTubeにアップされた動画は、日本に編集し、YouTubeチャンネルで公開中

コロナ禍とともに新年度がスタートした4月、人けのない東京紀尾井町キャンパスで「オール JOSAI #ナニシテル プロジェクト」が始動しました。キャンパスが閉鎖され、「同じ今」を共有できなくなった今こそ「それぞれの今」を伝え合うことで、みんなをつなぎたい——教職員の有志で話し合い、城西大、城西国際大、城西短期大学の学生・教職員に呼びかけ、それぞれの「今」を写した動画を募集しました。

自粛中に磨いた料理の腕を披露してくれた学生、自慢のペットを撮りまくった教員、マスク姿での読書タイムを公開した職員。たくさんの「今」が次々に集まり、藤野陽三学長も散歩風景を送っていただきました。城西国際大学メディア学部の協力で編集した動画はYouTubeで一般にも公開し、NHKのニュース番組「シブ5時」でも取り上げられました。

オンラインならではの!

「クイズ」で学ぶ医療栄養学

2020
5.16~

— クリック方式 HP上に出題一覧

ホームページ上で医療栄養学科の先生たちが手掛けるクイズが続いています。最初は5月16日の薬用植物園の食品クイズから始まり、研究機器や調理器具、調理などと、夏休みを挟んで後期授業に入っても継続されました。13回目からは解答をクリック方式にし、14回目からは過去のクイズ一覧を見られるように工夫されています。



発案者である学科主任の真野博教授は「オンライン授業が決定し、実験や実習もすべてオンラインになることが決まったため、実験や実習で使う機械を在學生に見てもらいたいと始めました」と振り返り、「オンライン授業の最後に実施しているクイズ(小テスト)をヒントに、先生方に面白そうで、かつ勉強になりそうなものをクイズ形式でどんどんアップしてください」とお願いした次第です」と語ります。

真野教授が3回目の「分析・研究機器」で出題したのが、コロナ禍で話題の「PCR装置」=写真。「DNA(遺伝子)を増幅してその量を測定する装置です。医療栄養学科では、2年生前期の『食品機能学実験』で『遺伝子組換え食品の検出』で『PCR法』と『抗体法』の両方を学びます。コロナウイルスの検出と原理原則は同じですね」と解説しました。真野教授は「在學生だけでなく、高校生や大人たちの目にも止まってもらえたことでしょ」と話しています。

新複合棟「23号館」地鎮祭

キャンパスの新しい“顔”となる
延べ面積2万1000平方メートル

2020
5.30

キャンパスの新しい“顔”となる複合棟「23号館」(仮称)の地鎮祭が5月30日、キャンパス内で行われました。新型コロナウイルス禍の中、地鎮祭は参加人数を制限、距離を保って行われ、約3年にわたる工事の無事を祈りました。

既存の1、2、4号棟と機器分析センターの機能を引き継ぐ新棟は、鉄筋コンクリート造7階建て、延べ面積は2万1000平方メートルに及びます。1階部分をすべての面に開放した空間として、学生や教職員、地域との交流の接点「ハブ」としての機能を持たせているのが最大の特徴。大きな庇の下^{ひさし}のひとつながりの空間「JOSAI HUB」には、アクティブラーニングやプレゼンテーション、カフェ、ワークショップ、グループ学習など多様な学びの形に対応した学習スペースや学生の居場所を備えます。庇の上には3つのエリアから成る教室・研究施設などを配置。また、庇部分はルーフトラスとして、授業や研究で使用できるほか、憩いの場としても活用できます。

神事後、施主挨拶で上原明理事長は「開学から55年、新しい価値をつくる若人を世の中へ送らなければならない時代になっていま



完成予想図



施主挨拶する上原明理事長



TVインタビューに答える藤野陽三学長

す。学生さんが安心して勉学できるような環境を提供できるかどうか、大学に問われています。そうした意味で、当大学にとって、この23号館を持つ意味は大きいと考えております」と述べました。また、藤野陽三学長は地鎮祭後のテレビ埼玉のインタビューで「これからの社会で一番大事なのは、横とのつながり、ネットワークが組めるかどうか。(23号館は)開放的な建物なので、学生さんと先生が横につながる場になってほしい」と語りました。

セキ薬品と連携協定を締結

薬学科生対象の特別奨学金制度も創設

2020
6.10

埼玉県を中心にドラッグストアなど約230店舗を展開する株式会社セキ薬品(南埼玉郡宮代町)と6月10日、連携協力に関する基本協定書を締結しました。セキ薬品の関仲治社長は薬学科の卒業生で、基本協定を受けて薬学科の学生を対象にした特別奨学金制度が創設されました。



協定書を手記に撮影する関社長(左)と藤野学長

連携協力に関する基本協定は、両者が包括的な連携のもと、学術研究で協力し、相互及び地域社会の発展に向け、協働して取り組む事業を実施することを目的としています。また、特別奨学金制度は、新型コロナウイルスの影響など経済的な理由から就学が困難になった薬学科の学生を支援するものです。実施期間は2021年度から2年間で、年間の上限は200万円を予定しています。

清光会館で行われた締結式で、藤野陽三学長は「奨学金については貴重なものなので、有効に薬学科の振興のために使わせていただきます。大学も地域連携、地域貢献が強く求められており、地元の企業と我々大学が色々な形で活動することによ

って大学の見せる化も進む、非常にいいカップリングだと思っています。我々が地域に行って何かするときにセキ薬品の活動の一環として行う。またセキ薬品の方に我々の大学に来ていただいて薬学教育に貢献していただくということも期待しています」と述べました。また、関社長は「城西の出身者が、幹部、そして店長として主力となって当社を支えています。埼玉県でナンバーワンを目指すというのが、当社の経営方針。地域のお客様に愛される会社をめざす中で、学長から話をいただき、地域連携で合致した次第です。地域のお客様と地域の企業、大学、医療、介護なども連携ができればと考えています」と語りました。

交換留学生6人に修了証授与

現代政策学部、経営学部、
経済学部で1年間学ぶ

2020
7.27

昨年9月から8月初旬までの約1年間の交換留学プログラムに参加したハンガリー、ポーランド、韓国の留学生たち6人が7月27日、藤野陽三学長にプログラムの修了報告をしました=写真。



交換留学生たちは、現代政策学部、経営学部、経済学部^に所属し、各学部の専門授業や日本語の授業を通じて多くのことを学ぶとともに、日本のさまざまな文化に直接触れ合う機会を多く持ち、日本への理解を大いに深めることができました。藤野学長が「修了おめでとう」と一人ひとりに修了証を授与。これからの活躍を祈念しました。

本学では、ハンガリー、ポーランド、チェコ、スロバキア、韓国、台湾の姉妹校と交換留学を通じて活発に交流しており、この10年間でそれらの国から合計約180人の交換留学生を受け入れ、本学からも20人の学生を交換留学に送り出しています。



新型コロナウイルスの感染拡大のため今季前半のスポーツ競技は軒並み中止や延期となりました。選手たちは自主練習などでモチベーションの維持を心掛けてきました。そんな状況の中、女子駅伝部では昨シーズンまで選手として活躍してきた佐光菜々子さんが、3月の管理栄養士の国家試験に合格。女子駅伝部を食事・栄養面でサポートすることになりました。また、陸上競技部では大学4年時の日本インカレの200メートルで優勝したOBの本塩遼さんが、学生部スポーツ振興センター職員として採用され、陸上競技部のコーチに就任しました。お二人に就任の感想や抱負を聞きました。

選手に寄り添いながら 毎日の食事を作っていく

女子駅伝部管理栄養士 佐光菜々子さん



—4年間の競技生活を振り返って?

「入学時に『3大駅伝(関東、全日本、選抜)をすべて走る&管理栄養士国家試験現役合格』という目標を立て、4年間やってきました。医療栄養学科は授業数が多く、遅い時間に1人で練習するなど両立は想像以上に大変でした。

沢山の方の支えもあって走り続けることができました。特に最後の1年は、お世話になった皆さんに走り感謝を伝えたいという思いで、部活・勉強ともに全力で取り組むことができました。陸上競技に全力投球できた学生生活は、私の大きな財産です。自分に素直な気持ちを持つこと、諦めないことの大切さを学べたと思います」

—管理栄養士としてチーム入りした(残った)理由は?

「高校のときの将来の夢が、アスリートをサポートするスポーツ栄養士になることでした。入部した当初から、食事の改善によってもっと良い結果が出せるのではないかと感じていて、いつか自分が管理栄養士としてチームに携わりたいと思うようになりました」

東京五輪に出場する選手を 輩出したい

陸上競技部コーチ 本塩遼さん



本塩コーチは2013年、経営学部卒業。富士通で4年間現役を続ける一方、順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科を修了しました。陸上競技は7月に入って競技の再開が始まり、主将の水久保至選手(経営学部4年)は同18、19日に開かれた宮崎県選手権の100メートルと200メートルで自己ベストを更新。

関東インカレの5月開催が見送られたうつぶんを晴らす走り、100メートルは10秒27で城西大新記録、宮崎県新記録でした。また、水久保選手は8月10日に熊谷市で行われた記録会の200メートルで20秒65と自己記録を更新(宮崎県新記録)。本塩コーチの持っていた城西大記録(20秒81)を塗り替えました。さらに水久保選手は8月29日に福井市で行われた大会の100メートル予選で10秒26と記録を伸ばしました。

—仕事をしてみての苦勞とやりがいとは?

「献立作りから食材の買い出し、1日3食の調理を1人で行うのは想像していたよりも大変で、体力のいる仕事でした。提供時間に間に合わず、選手を待たせてしまったり、料理を失敗してしまったりしたこともあり。しかし、食事後に部員たちが掛けてくれる『おいしかったです!』という言葉にいつも救われています。体重管理や貧血予防などに気を使いつつ、毎日練習を頑張っている部員にとって食事が少しでも楽しい時間になればという思いで日々厨房に立っています」

—コロナ禍での現状への思いと今後の抱負を聞かせてください。

「新型コロナウイルスの影響で4、5月は部活動が停止となり、選手は自主練習という形になりました。目指していたレースが次々に中止となり、選手たちはモチベーションを保つのが難しい状況でしたが、寮の食事で少しでも元気を出してもらえよう、味だけでなく見た目も意識して食事を作っていました。しっかりと練習を積むことが出来る身体を作れるよう、選手1人ひとりに寄り添いながら毎日の食事を作っていきたいと思っています」

赤羽周平監督は「佐光さんは元選手としての経験も活かしながら、とても美味しく笑顔になれる食事を作ってくれ、駅伝日本一を目指して激しいトレーニングに励む部員たちの胃袋を日々満たしてくれています。女子駅伝部の学生たちには大きな活力となっています」と話しています。

—3年間は週末の外部コーチ。今春からは本格的にチームを指導されています。

「400メートルハードルが専門の千葉佳裕監督の一人体制が続き、短距離の指導者がいない時期があつていくぶんレベルが下がった状態でした。3年間の外部コーチを経て、(短距離陣は)だいぶ形が出来上がってきた感じがします。(水久保選手については)日本インカレで勝ち、日本選手権では上位入賞して来年の東京五輪につなげてほしいと思います」

—コロナ禍での選手のコンディションは?

「全体練習が始まった6月第2週までは、選手各々が出来る範囲で取り組みをしてきました。意外に皆、状態が良いのにはびっくりしました。『皆と練習できるのはすごく楽しい』と選手は口々に言います。練習できる喜びを再確認できているようです」

—コーチとしての目標は?

「東京五輪に出場する選手を輩出したい、というのが一番の目標です」

JOSAI SPORTS FIELD

「サッカーの城西」拠点としても期待

キャンパス北側の毛呂山町下川原地区に建設が進められてきた「JOSAI SPORTS FIELD」がこのほど完成しました＝写真。
約5万平方メートルの敷地に人工芝のサッカー場2面、ソフトボール場1面に加え、アップダウンのあるランニングコース(1キロ)が整備されま

完成!



した。また、管理施設にはトレーニングルームやシャワー室も備えています。
本学では2021年度に女子サッカーチームも創設する予定で、「サッカーの城西」の拠点となることが期待されています。



駅伝

箱根予選会は10月17日 無観客で 全日本大学対校(1/1)は出場権獲得

第97回東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)の予選会は10月17日に東京都立川市の陸上自衛隊立川駐屯地内の周回コースで行われることになりました。例年、同駐屯地をスタートして市街地を通り、国営昭和記念公園にゴールするコースで行われていますが、今年は新型コロナウイルスの感染拡大防止の対策として、一般には開放せず無観客で行われます。距離はハーフマラソンで、各校登録選手の中から10～12人が出場して上位10人の合計タイムで競い、上位10校が本戦の出場権を獲得します。男子駅伝部は2年ぶり、16回目の本戦出場を目指して予選会に臨みます。
一方、11月1日に開催される第52回全日本大学駅伝対校選手権については、出場する推薦校7校に入りました。シード校8校以外の

推薦校は例年、選考会を開き、トラックの1万メートルの各校8選手の合計タイムで競っていましたが、今年はコロナ禍で選考会が中止になりました。このため、各校8選手が昨年マークした1万メートルの公認記録の合計で決めることになり、城西大学は7番目に入りました。

男子駅伝部の菊地駿弥主将は「チームは、後期のレースに向けて慎重に準備を進めています。箱根予選会と全日本大学駅伝に向けては、マネージャーを含めたチーム全員で勝つべくして勝ちたい」と意気込みを語っています。



男子駅伝部・菊地駿弥主将

フォーカス

連携協定を結んでいる近隣自治体のキーパーソンと附属高校のトピックスを紹介するシリーズ「フォーカス」。今号は、毛呂山町の麻原酒造株式会社代表取締役、麻原健一さん(56)と附属城西高校に届いた中国の姉妹校の激励メッセージにフォーカスしました。

日本の「素敵」を世界へ

毛呂山町の麻原酒造(株)代表取締役 麻原健一さん

麻原さんは5代目社長。初代の善次郎氏は琵琶湖畔に生まれ、9歳で東京・青梅の酒蔵に奉公入り。明治15年、29歳の時に毛呂山町で酒造会社を興しました。現在は日本酒のほか、リキュール類、焼酎、ワインから地ビールと銘柄は30種以上に及びます。コロナ禍で不足した消毒用の高濃度エタノール製品を町に寄贈し、優先供給等に関する協定を結びました。麻原社長の夢は、自信作の純米大吟醸酒「素敵」(SUTEKI)にちなんで、日本の素敵なものを世界に発信する「素敵プロジェクト」の展開だそうです＝写真。



—麻原酒造にとって転機となったのは?

「もともと日本酒造りとビールの間屋をしていた日本で一番小さい酒造会社でした。ずっと純米酒にこだわって酒造りをしていたところ、30数年前に、ある酵母のおかげで青りんごのような香りの日本酒が出来上がりました。全国の専門店から引き合いがあり、V字

回復のきっかけになったんです。20年前に社長を引き継いで、地元の特産である毛呂山の柚子と越生の梅を使ったリキュール類の販売に乗り出しました。最初は売れなかったものが、高級スーパー「クイーンズ伊勢丹」さんに置いてもらったことがきっかけで取引依頼が増え、日本酒も全国の専門店に広がりました。良いパートナーと組むことが一番大事です」

—コロナ禍でご苦労されていると思います。

「高濃度エタノール製品の町への寄贈は、地元貢献になればと。コロナの影響で確かに国内販売は減っていますが、ありがたいことに輸出は増えています。日本酒は延べ20カ国以上に出していますし、ビールは日本よりヨーロッパのほうが多いです」

—麻原さんのモットーは?

「『壁は作らない』です。日本だけで商売していく時代ではありません。一方で、コロナ禍で分かったことは、海外に頼りすぎないということです。いろいろな場面で新しい動きが出てくるような気がしています。そんな中で、うちの商品に限らず、日本の素敵なものを世界に紹介できればと考えています」

「麻原酒造株式会社」：毛呂山町毛呂本郷94番地
「越生ブリュワリー」：越生町上野2906-1
☎049-298-6010

中国姉妹校から応援メッセージ

附属城西高校

附属城西中学・高校に6月、中国の姉妹校・上海甘泉外国語学校の生徒代表、梁凌さんから動画による応援メッセージが届きました＝写真。梁凌さんは2月に短期留学生として来日する予定でしたが、コロナ禍のため来日が叶いませんでした。「せめて城西の皆さんに挨拶と応援のメッセージを送りたい」と動画を作成したそうです。動画は約3分。日本語専攻の梁凌さんは流暢な日本語で「こんなときこそ、医者、看護師の皆様へ感謝の気持ちを持ち、周りの友達との絆を振り返り、家族とたくさん話をしたりしていつも通りの

生活が必ず戻ってくることを信じて皆で乗り越えて頑張っていきたい」と呼びかけ、「一日も早くお互いに交流が出来る日が来ることを祈っています」と結びました。

同校は国際交流活動に力を入れており、その始まりは1982年、米オレゴン州のスイートホーム高校との姉妹校提携でした。現在、姉妹校・提携校は7カ国16校に増え、長・中・短期の留学派遣や留学生受け入れ、海外修学旅行などを行っています。上海甘泉外国語学校も姉妹校の一つ。城西国際大学の孫根志華教授の紹介で2006年から交流が始まりました。2012年まで行われた中国への修学旅行はその後、日中関係の冷え込みで中断していますが、2008年から始まった同校からの短期留学生(2人)の受け入れは続いています。

国際交流推進委員長を務める高橋嵩教諭(英語科)は応援メッセージについて「こんな時期だけに大変嬉しく、生徒には学校HPですぐに共有しました。(先方の)学校長宛には『これからも交流を続けていきたいと思います』と感謝のメールを送りました」と言います。コロナ禍での影響で国際交流はストップしたまま。高橋教諭は「国際交流による生徒たちの笑顔の戻る日が、一日も早く訪れてほしい」と語っています。



先輩訪問

各界で活躍する卒業生を紹介する「先輩訪問」。今回は、本学への進学者が多い山形県の酒田南高等学校の教頭、佐藤玲児さん(50)にリモートでお話を伺いました。



やりたいことを 損得考えず楽しもう

さとうれいじ
酒田南高等学校教頭 佐藤 玲児さん(1993年 理学部卒)

—コロナ禍で苦勞されていることと思います。

「山形県は幸い、感染者数は少ないですが、学校ということもあり、クラスターの心配を抱えながら感染予防に努めているところ。検温や消毒、冷房中の換気など例年とは程遠い状況にあります。部活動は6月中旬から徐々にできるようになりました。ただし、多くの3年生は大会や行事が中止、あるいは完全な状態で出来なかったため進路指導での心配がりましたが、うまく切り替えているようです。普段の授業ができずにリモートで行ったコースもありますが、デジタルにはデジタルの良さ、アナログにはアナログの良さを実感しました」

—学生時代に打ち込んだことを教えてください。

「部活とアルバイトに明け暮れた学生生活でした。陸上競技部(長距離)に4年間在籍しました。入部当初は理学部数学科だったため、先輩方から競技よりも留年しないよう心配されていました。歴代の数学科の長距離の先輩たちがことごとく留年となって部活をやめてしまうジンクスがあったためです。良い先輩方のおかげで、部活を全うすることができました。アルバイトも1年の途中から卒業まで続けました。確か国道407号沿いにあった、『ステーキのどん(鶴ヶ島店)』というファミレスです。仕事が終わって、外に出ると国道のネオンが煌々と輝いていました。そこから自転車で大学脇のアパートまでの道のりは、山形に戻ってきたのかと錯覚しそうな気分にはさせてくれました」

—特別進学科を全国に先駆けて設立されたほか、食育調理コースなどユニークな教育を展開されています。

「特別進学科の設立は、1969(昭和44)年です。大学進学率が非常に低かった酒田市で、特に理系の大学進学率を引き上げることと戦後のベビーブームを見込んだ生徒募集の入試対策からでした。その後、城西大学同窓会元会長の佐藤鉄也先生(酒田南高校初代生徒会長)が特進科の教頭をされていた時代に、多くの生徒が城西大学へ進学する流れが築かれました。私も鉄也先生から城西大学の入試制度や大学についてのアドバイスをいただきました。食育調理コースは現代のニーズに応え、調理のチカラで地域の農業、水産業、観光業をつなぐ食のリーダーを目指す教育を行っています。調理技術のほかに

も、イベントを企画運営するなど総合的に食を学ぶことができます。西洋・中国・日本料理の一流講師陣から直接学び、3年間で国家資格の調理師免許の資格取得ができるのが最大の特徴です」

—硬式野球部は春夏11回の甲子園出場を誇ります。部活動も盛んですね。

「硬式野球部は、昨年秋に新監督を迎えました。新監督は私が3年間、担任した生徒です。何かの縁を感じるので、甲子園出場を願っています。そのほか女子サッカー、男子新体操が力をつけています」

—好きな言葉を教えてください。

「卒業式の際にアルバムに『一言』頼まれた時に、書くフレーズが、『努力に克る天才なし』です。テレビなどでよく扱われるフレーズですが、私の記憶だと、瀬古利彦氏が発した言葉だと思います。私が小学生のころは、長距離・マラソンのスーパースターと言えば、瀬古さんでしたので、特に理由はないのですが、覚えてしまいました。若い時と今の感じ方では、解釈も徐々に変わってきていますが、私にとっては、昭和感が漂う、いいフレーズです」

—後輩へのメッセージをお願いします。

「私は中学校のころ、将来、教師になるとは、思ってもいませんでした。また、30年もこの仕事を続けているとは思ってもいませんでした。大学での経験は、勉強であったり、生活であったり、遊びであったり……。あまり難しく考えないでいろいろやってみたらどうでしょう。結構、失敗しますよ。やりたいことを、損得考えずに楽しめるっていいですね」

■酒田南高等学校

1961年設立の私立高等学校。2018年に同一学校法人、天真林昌学園が運営する天真学園高等学校と統合した。男女共学の全日制課程。生徒数は550人。部活動も盛んで、レスリング、ボクシングでオリンピック選手を輩出しているほか、野球、陸上・駅伝、空手道、弓道などで実績がある。所在地は、山形県酒田市浜田1-3-47

図書館だより

水田記念図書館所蔵の「魚鑑」が『健康カプセル!ゲンキの時間』で紹介されました

5月17日(日)午前7時から放送のTBS系列のテレビ番組『健康カプセル!ゲンキの時間』で水田記念図書館所蔵の漢方古書資料「魚鑑(うおかがみ)」=写真①=が紹介されました(番組HP:<https://hicbc.com/tv/genki/archive/200517/>)。

「魚鑑」は1831(天保2)年刊行の江戸後期の医師、武井周作によって海産物の料理法や効能などがまとめられた古典籍です。放送回のテーマは「賢く食べて健康効果UP 東京湾!今が旬の魚介類」で、「すずき」「鯛」「はまぐり」などについて「魚鑑」に書かれた効能=写真②=とともに紹介されました。「魚鑑」のほかにも水田記念図書館所蔵の漢方古典資料はホームページから閲覧することができます。興味のある方は「漢方古書資料デジタルアーカイブ」(<https://libir.josai.ac.jp/contents/josai/kanpou/>)よりご利用ください。



「TOSHOKAN QUEST」を公開しました —RPGで図書館を冒険してみよう—

5月11日(月)、水田記念図書館ホームページにて「TOSHOKAN QUEST」=写真③=(<https://libopac.josai.ac.jp/rpg/rpglogin.html>)を公開しました。このゲームは水田記念図書館の館内を忠実に再現したロールプレイングゲーム(RPG)になっています。プレイヤーは館内のキャラクターに話しかけたり、宝箱を調べたり、出題されるクイズに答えることで図書館の取り組みや実際の利用方法が学べるようになっています=写真④。実際にフレッシュマンセミナーの演習で利用した薬学部医療栄養学科の新入生からは「ゲームの中だけではなく本物の図書館に行くのが楽しみ」「楽しくゲームをする感覚で図書館がどうい感じなのかわかってよかった」などと好評を得ています。また学外でも公開直後からTwitterを中心に多くの反響があり、図書館界、図書館情報学に関する最新情報が得られる国立国会図書館のサイト「カレントアウェアネス・ポータル」(<https://current.ndl.go.jp/node/40960>)にも関連記事を掲載していただきました。「TOSHOKAN QUEST」は水田記念図書館ホームページからどなたでも利用できます。ぜひ、チャレンジしてみてください。



図書館学生アドバイザーがオンラインでオープンキャンパスに参加しました

7、8月に開催されたオープンキャンパスに図書館学生アドバイザー4名(経済学部4年・松浦侑希、経営学部4年・西村紘昌、現代政策学部4年・鷹野朱里、経営学研究科1年・藤田光騎)がオンラインで参加しました=写真⑤。当日は1Fと3Fの図

書館学生アドバイザー席に設置されたパソコンを通し、来館した高校生や保護者の方からの質問にリアルタイムで応えることで、実際の活動の様子を感じてもらいました。また、今年のオープンキャンパスは「TOSHOKAN QUEST」と連動した図書館内のチェックポイントを回るキーワードラリーを企画し、参加していただいた高校生と保護者のみなさまにはリアルとゲーム両方の雰囲気を楽しんでいただきました=写真⑥。



Art

美術館通信

水田美術館は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と感染予防のため、4月より休館中となっておりますが、休館期間中もコレクションを通して浮世絵の魅力をお伝えできるよう、オンラインやSNSを活用したさまざまな活動に取り組んでいます。



オンライン美術館

2018年度・2019年度の展覧会でご紹介しました当館所蔵の浮世絵作品をホームページ上でご覧いただける「オンライン美術館」を期間限定で公開中です。

観音霊験記 秩父順礼

百観音霊場を取り扱った浮世絵(観音霊験記)から秩父の部分を描いた作品をご紹介します。幕末期の観音霊場紹介の資料としてもとても貴重なものです。



「百番目録」—「観音霊験記 秩父順礼」より

大江戸芝居年中行事

江戸三座体制であったころの歌舞伎興行の慣習を取り上げ描いた作品で、墨摺りの版本では味わえない鮮やかな多色摺りの浮世絵版画を通して、江戸時代の歌舞伎に携わる人々を、さまざまな角度で垣間見ることができます。



「読み立て」—「大江戸芝居年中行事」より

時代かがみ

美人図を画面下段に配し、上段にはその時代に流行していた芸能、文化、職業、行事等を描いています。各時代の美人の姿が当時の髪型や装いで描かれていて、美人の変遷をたどることができます。



「貞享之頃」—「時代かがみ」より

浮世絵版画 江戸のペーパークラフト組上絵

組上絵とは、厚紙に貼り、描かれたパーツごとに切り抜いて立体的に組み上げていく浮世絵版画のことで、現代のペーパークラフトにも通じるおもちゃ絵の一種となります。

浮世絵版画「江戸のペーパークラフト組上絵」—歌川国郷(東錦絵大當芝草)複製組立、2019年製作(原画=大判錦絵九枚続、安政6年[1859])



おうちでワークショップ

「おうちでワークショップ」では、複製簡易版組上絵と当館所蔵の水田コレクションをぬり絵にした「ぬり絵で浮世絵」をご紹介します。ホームページからPDFファイルをダウンロードして、制作でき、おうち時間のひとつの過ごし方としてご紹介しています。

ぬり絵で浮世絵

彩色例の右は、写楽の作品をパソコンでグラデーションにして色付けしたもので、左は、歌川国政の作品を、色鉛筆で現代風の茶髪にアレンジしています。実物と同じ色合いにしてみたり、オリジナルカラーで彩ったりと、おうち時間をお楽しみいただけます。水田コレクション作品のぬり絵は、順次公開していく予定です。



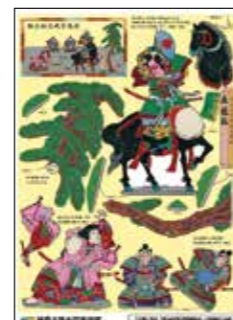
ダウンロード後、印刷



【彩色例】
(右)東洲斎写楽「松本米三郎のけい坂の少将実はしのぶ」、(左)歌川国政「三代目市川八百蔵の梅玉丸」

複製簡易版組上絵

三代歌川国貞《明治座新狂言扇屋熊谷》の複製簡易版組上絵をダウンロードできます。印刷して厚紙に貼り、切り抜いて製作します。台座は別途ご用意ください。完成後は、お部屋に飾るなどしてお楽しみいただけます。



ダウンロード後、印刷
完成図(台座は別途ご用意下さい)



Twitterはじめました

2020年6月から城西大学水田美術館の公式アカウント(@museum_josai)でTwitterを始めました。当館で所蔵している作品のご紹介、今後の展覧会情報や関連企画、開館情報等をHPと併せてこちらでもお知らせしていきます。



最新情報は水田美術館HP、Twitterでご確認ください



水田美術館
ホームページ QRコード



水田美術館
Twitter QRコード

エリア紹介

日高市

日高市産の栗で 実りの秋を味わいませんか

日高市は県内随一の栗の産地です。日高市の栗=写真=は、品質がよく粒大なのが特徴です。商標登録によりブランド化された「高麗川マロン」と「日高ぼロン」があります。

高麗川マロンは、2Lサイズ以上の規格で、品種は国見、大峰、利平、筑波の4品種に限られ、毎年9月中旬から下旬にかけて販売されます。贈答用としても人気があります。また、日高ぼロンは、日高市ぼろん研究会が生産・販売をしています。鬼皮に切り込みを入れ、電子レンジで加熱すると鬼皮と渋皮がぼろっとむけるのが特徴で、収穫してから1カ月間熟成させることにより甘みが増すため、10月上旬から販売されます。市内では、栗を使ったお菓子やお酒等も販売されています。



さらに日高市には、2月から4月が旬のうどや、お茶、夏には摘み取りもできるブルーベリーといった特産品があり、四季の味覚を楽しめます。まずは、食欲の秋に栗はいかがですか。

越生町

越生町宮樹木葬墓苑 「五大尊花木墓苑」

五大尊花木墓苑は、古くから関東屈指のつつじの名所として知られている「五大尊つつじ公園」の一角にあり、関東平野が一望できる自然豊かな花木墓苑です=写真=。晴れた日には、都心のスカイツリーを望める、素晴らしい見晴らしの立地環境の中で安らかな眠りにつくことができ、訪れる方にも気持ちを安らげていただけます。

つつじを植栽した樹木葬の埋蔵形態に特化し、従来のように墓石などを設けず、できる限り自然のまま土に還る自然葬という新しい供養の形を実現した墓苑です。樹木葬と樹林葬に特化した公営墓苑は、全国的にも初めてのものになります。

また、町外の希望者には、ふるさと納税を活用し「越生町ふるさと住民票」を取得していただくことで申し込むことができるのも特徴のひとつです。今後、墓地の取得や管理に悩む首都圏在住の方にとっても一考に値するのではないかと考えております。

問い合わせは、越生町役場まちづくり整備課(☎049-292-3121/内線155)まで。



東武線沿線情報

「SAITAMAプラチナルート乗車券」を発売

東武鉄道と秩父鉄道は「東武鉄道×秩父鉄道SAITAMAプラチナルート乗車券」を7月18日から販売しました。この乗車券は、埼玉県が推奨する主要観光地である川越市、長瀨町、秩父市を結ぶ「SAITAMAプラチナルート」を満喫していただくことを目的に発売したもので、東武鉄道の東上線・越生線全線と秩父鉄道の寄居駅～三峰口駅間が1日乗り降り自由となる大変お得な乗車券です。2019年7月から11月にかけて限定発売をしていましたが、ご好評をいただき、今回から通年発売することになりました。大人1900円、小児950円。

「SAITAMAプラチナルート」は、海外からのお客様を誘致するために埼玉県が提案した観光ルート。外国のお客様だけでなく、日本のお客様にもお勧めのルートです。さまざまな文化財や豊かな自然を散策できる「SAITAMAプラチナルート」にお出かけの際には、ぜひご利用ください。

